学校番号	3005

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	デッサン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校制作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

描写力はモノを見る力を身につけることで格段に向上します。まずは落ち着いてモチーフと向き合い、観察する力を身につけることが重要です。
デッサンは真剣に取り組んで描きあげた枚数に応じて上達します。
進路をふまえた実技課題の相談にも個別に対応しますので、積極的に相談に来てください。
作品制作は試行錯誤を繰り返しながら、自分が納得するまで追求し続ける姿勢が大切です。
日ごろから身近にある質感に関心を持ち、どういう質感のものがどう見えているのかに興味を持つようにしましょう。

2　学習の到達目標

デッサンやスケッチの表現と鑑賞学習を通して対象の形体やイメージ、空間などを把握し、画材や表現方法を工夫しながら造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。
対象を深く観察し、描写力を高めることによって周囲の環境に対する関心を深める。
技法や材料の特性を理解し、描写の幅広い表現方法を追求する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や道具に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいる。	感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことを統合したうえで、モチーフの構造まで模索し表現の構想を練っている。	観察力、描写力、表現力向上のため、モチーフと真剣に向き合っている。構造、つくりなど、見えない部分を想像し、表現している。	自分の作品を客観的に見ることができる。他者の作品を鑑賞し作品の意図を読み取ることができる。
評価方法	取り組む姿勢	スケッチブック 作品	スケッチブック 作品	合評会

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	デッサン基礎	【オリエンテーション】 ・道具について ・描写について	○	○		○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:モチーフの構造を模索し構想を練っている。 d:モチーフの構造、つくりなど、見えない部分を想像し、モノに対する理解が深められている。	取り組む姿勢 スケッチブック
	描写	【デッサン】 ・静物の描写 ・人工物の描写 ・人物の描写 ・合評	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:対象を見つめて、形態と質感の特徴をつかみ、構図などを工夫している。 c:画材の特性を生かし、モチーフの構造まで理解して造形している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	取り組む姿勢 作品 スケッチブック 合評会

後期	立体描写	【木彫】 ・立体描写 【鑑賞】 ・評価シート記入	○ ○	○	○	 ○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:材料の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 対象を見つめて形の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:鉛筆やアクリル絵の具など画材の特性を生かし、表現方法を工夫してモチーフの構造まで理解し造形している。 d:他の生徒の作品の良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、次の課題に活用しようとしている。	取り組む姿勢 スケッチブック 作品 合評会
	精密描写	【精密描写】 ・人工物の精密描写 ・合評会	○	○	○	 ○	a:モチーフの特徴を細かく観察し、表現することに関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 b:モチーフの特性をよみとり、表現方法を試行錯誤している。 モチーフをしっかり観察し、表現に工夫が見られる。 c:モチーフの構造を理解して観察・描写している。 d:他の生徒作品の良さや美しさ、見どころなどを感じ取り、自分の作品制作に活用できるよう理解を深めている。	取り組む姿勢 スケッチブック 作品 合評会

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解